

## 120710 第11回「国語教育法」講義感想

### タイトル集

- 授業からの指導案抽出
- 教材研究無くして指導案は語れない！
- 指導案作り～理解の見取り図～
- 指導案を書くのは難しい
- 何をしたいのか、その為に何を用意し何をせるのか
- 細かい準備
- 伝えたいことがあるんだ
- 学習指導案作成の練習
- 後期に向けて指導案を書いてみよう
- 第一回指導案トレーニング
- 指導計画って難しい!!
- 起こりうる全ての出来事に対して留意する心を！
- 私は教師だ！
- 授業設計図をつくれ
- 指導案をつくってみよう
- 始まりは教材研究
- 実践あるのみ!!!
- 生徒を導く手順
- 実践で学ぶ！ 指導案作り
- 大切なのは「伝えたいこと」
- 指導計画を書いてみよう!!
- 実際に学習指導案作りにチャレンジ!!

### 感想集

① ●●

○授業内容という答えが載っている資料が目の前にあるはずなのに、元になった指導案を自分で考えて起こしてみるのにはすごく難しかったです。作成途中で「前回の例を持っていた！」と気づき、参考にしたら、少しは作業が進むようになりました。学習内容や生徒の活動は割とすらすら出てくるのですが、自分がどう指導すべきかということに関しては、なかなか上手い留意点が出てきませんでした。

② ●●

○今日、実際に指導案を書いてみて、思っていた以上に難しいと感じ、教材研究の大切さを改めて感じました。「抽象度が高くなっていく」という説明は分かりやすかったです。あと、先生は授業中のやりとりを全て覚えているのでしょうか？

③ ●●

○全体のゴール（目標）が分かっていないと、日々の授業の質が上がらないし、生徒の理解も難しいでしょうね。「よだかの星」は大好きですよ！ 通学時の地下鉄内で、中学生の時は「よだか」で、高校生の時には「憂国」（別の作者です、まあ念のため）で、ふるえてました。

④ ●●

○今日の授業で実際に指導案を書いてみて、思っていたより書くのが難しかったです。どこにどれだけ書けばよいのか迷いました。そして、今回体験してみて、前回配られた実際に使用された指導案は、良くできていたのだなぁと思いました。

5 ●●

○授業計画を眺めていて、このやりたいこととタイムテーブルの兼ね合いは慣れるまでに相当苦労しそうだと思いました。どれ位の分量で多すぎて、どれ位で少ないのかがまだ見えそうにありません。「永訣の朝」は、祖父が亡くなる数日前や、動物が死ぬ直前の何とも言えぬさびしくも神々しい気配を感じさせられ、怖くもあり、美しさに惹かれる作品でもあると思います。

6 ●●

○先週休んでしまい、学習指導案を実際に作成するとなった時、何をどのように書けばいいのか全く分からなくて焦りました。講義は休むものではありませんね(苦笑)。でも、実際に作ってみて、最初に指導目標を立てて計画を考えたのですが、計画をたてていくうちに、指導目標も変わっていった、先生の説明が身にしみて感じられました。

7 ●●

○不覚にも「永訣の朝」を読んでしんみりしてしまいました。最近読んだ小説が悪かったのか、宮沢賢治の名をみると「魔王」という言葉が出てきてしまうのですが、この詩からは澄んではかない命の音が聞こえる気がしました。

8 ●●

○実際に授業の組み立てや、生徒の学習活動、指導上の留意点を記述してみて、とても具体的で、細部までまとめておく必要があることに気づき、大変だなあと思いました。ただ、最初の教材研究をしっかりとすることで、自分のイメージする授業に近づけるのだなと改めて認識しました。

9 ●●

○私、とてもザックリ大雑把な性格なので、先を予想して細かな準備をするのが苦手です…後期が少し不安です。でも、楽しみでもあるので、頑張りたいなと思いました。

10 ●●

○勘違いして、自分が永訣の朝を教えるなら、という空想でプリントと別の展開をつくろうとしてしまいました。すぐに行きづまりましたが(笑)。自分はそのとき教師を筆頭に音読するという選択肢をとったのですが、電子辞書並みの朗読力を国語教師は備えておいたほうがいいと感じました。

11 ●●

○今日、実際に指導計画を書いてみましたが、想像していたより難しくて驚きました。既にできあがっている授業から書いていくのですら、こんなに難しいのに、一から自分で授業を作るとなると、本当に大変だろうなと思いました。

12 ●●

○プリントを忘れてきた生徒に対する対応を指導上の留意点に書き込むという発想は無かったのですが、授業内で起こりうることに限っては、事前に留意しておく必要があると考えれば、書き込む必要のあることなのだなと思いました。高校生の時に受けていた授業のことを思い出して、予想されるトラブルに関しては事前に手を打てるよう、思索をめぐらせておきたいと思います。

13 ●●

○学習指導案を作成する上で、もっとも大切なのは教材研究であると再確認できた。自分が扱う作品については、誰にも負けない位の勢いでないと、生徒を楽しませることができないんだなあと感じた。

14 ●●

○心配性な私は、細かく書きたがりやで、書くのにもやや時間がかかってしまいました。今日は先生の授業を指導案に落とし込んでますが、一から自分でやったらもっと時間がかかるでしょう。伝えたいことを相手に伝わるような問いをたて、展開できるようになりたいです。

15 ●●

○今回は保戸塚先生の授業が用意されている状態からの案作りでしたが、実際は自分で一から考えなければいけないのかと考えると、少し不安になりました。

16 ●●

○実際に指導案を書いてみて、どこにどういうことを書いたらいいのか迷い、なかなか筆が進みませんでした。まだ自分の中で授業をしている姿が想像できていないからでしょうか。実感が出て来ればもっとサクサクと書けるようになるのだろうか、少し不安です。

17 ●●

○みなさんの感想の中にもありましたが、とにかく指導案を書くには慣れが必要なのだと思いました。少しずつやる内容が具体的になってきているので、ドキドキします。とにかく練習を重ねようと思います。

18 ●●

○教師の指導上の留意点に関して、考えすぎると注意点だらけになってしまいそうです。順調に授業をしていくのは大変ですね。

19 ●●

○段取りをしていくと細かい部分まで気を配ることが必要で、すごく根気のいる作業だと思いました。自分本位ではなく、生徒に伝えたいこと、生徒に学んでほしいことを中心とした授業作りをしていきたいです。すごく楽しかったです!!

20 ●●

○実際に書いてみると、本当に上手くないかと思いました。ですが、他の人の書いた例を参考にすると、何とか書けたような気がします。やっぱり人の助けは大切だと思いました。

21 ●●

○前回までの授業で、大体イメージはできたと思っていましたが、実際に書いてみると、どこにk書くべきなのか迷ったり、語尾があっているのか不安になったりしました。また改めて教材研究の重要性を感じました。